

2016 2/9

No.2012

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



鎌倉市長谷の高徳院で行われている国宝の鎌倉大仏（阿弥陀＝あみだ＝如来坐像）の保存修理工事の様子が1月28日、報道陣に公開された。1959年から実施した「昭和の大修理」以来の「健康診断」、で専門家らが損傷状況などをチェックした。



視点・点描	3
国際バカロレアって何？	
政治	4
甘利氏辞任、67%が「当然」 内閣支持は上昇、ダメージ回避	
経済	6
「デジタルは競争力のコア」 電通、戦略的M&Aを加速	
国際	8
サウジ・イラン断交、長期化へ シリア和平、IS戦に影落とす	
くらし2016	10
日本から「眠り病」の新薬を	
広告珍談	12
広告はたのしい⑨ 靴とチャップリン！	
NNAアジア経済レポート	13
会員のページ	14
設立50周年は4月に(その19)講演録抄録⑨ 会員の動き	
会員のページ	15
設立50周年は4月に(その19)講演録抄録⑨	

### 事務局だより

◇横浜定例講演会  
2016年3月3日(木)  
13時30分～15時  
ロイヤルホールヨコハマ5階  
「リビエラ」  
講師はノンフィクション作家の  
小松成美さん  
演題は「一流とはなにか～アス  
リートたちの真実」

# 視点 点描



## 国際バカロレアって何？

「国際バカロレア」という言葉が神奈川新聞にしばしば登場するようになった。県教育委員会が新年度から始める「県立高校改革」で、県立横浜国際高校を「国際バカロレア認定推進校」に指定すると発表したためだ。国際的な大

学入学資格とされる「国際バカロレア」とは何か。

「国際バカロレア」という言葉を受ける統一国家試験のこと。合格すれば、原則として希望する大学に入学できる。かのナポレオンが人材発掘のため創設した。

「国際バカロレア」はこれとは別物。非営利の教育機関「国際バカロレア機構」(本部・ジュネーブ)が提供する英語主体の「教育プログラム」であり、その評価試験に合格することで得られる「大学入学資格」でもある。ここで「入学

資格」としているが、国際バカロレア(以下、IBと記す)を得れば、無条件でこの大学でも入れるというわけではない。大学によっては、IB資格が必須で、得点次第では他の検査を受けずに入学が許可される。趣は異なるが、日本の大学入試におけるセンター試験のようなものだ。

高校生は、思考力や知識の活用などを重視するIB教育を受けた上で、評価試験に合格すればIB資格を得る。IB機構に認められた認定校だけがIB教育を行える。今回、県立横浜国際高校は、条件を整えてIB認定校になる「任務」を与えられたわけだ(最

短なら2019年度に認定を受けられる、らしい)。

IBがこれまで日本で浸透しなかったのには理由がある。まず日本語の使用が認められていなかった。また物理的に高校の学習指導要領と両立が困難だった(IB資格が取れても、日本で高卒認定されないのでは、困る)。

しかし日本政府がグローバル人材育成を掲げる中、文部科学省もIBの日本語プログラム導入を機構に働きかけ、18年までに認定校を200校に増やす目標を立てた。指導要領と両立できるように制度も変えた。県教委の動きはこの流れに沿ったものだろう。

IBを、グローバル社会を生き抜くための切り札、学力向上の魔法のつえのように捉える向きもあるが、横浜国際高にしても生徒全員が受講できるかどうか未定で、大多数の高校生にはとりあえず無関係だ。少数のエリート教育の意義と今後を見届けたい。

(神奈川新聞社教育担当部長

青木 幸恵)

